



■令和5年3月1日～3月29日、3月会議が開催されました。

山本議員の会派代表質問を通じて、議会活動報告をいたします。

なお、委員会などのトピックスは、ホームページの「山本せいごオフィシャルサイト」でご覧になれます。

## 山本せいごの 会派代表質問（せい風会）

■町長の施政方針について、昨今の緊張する国際情勢から強化される国の施策との連動、および町独自の課題について、町長の基本的な考えについて問いました。

### (1) 祝園弾薬庫所在地の首長として

- ロシアのウクライナ侵略戦争、米中対立の激化、朝鮮半島の緊張などから、わが国の安全保障の深刻さが憂慮されている。国内では、自衛隊の反撃能力の保有の推進、そして基地強化が計画されている。防衛省では、全国の大型弾薬庫の整備が計画され、また弾薬庫の整備と弾薬も増やす計画となっている。
- 町長は、祝園弾薬庫との共存は、住民の理解が不可欠であり、一層の住民の福祉の向上策を国に求めていきたいと考えを表明している。

**質問1:** 祝園弾薬庫に関する情報の提供と安全安心を住民に担保する必要がある。本町ではどのような情報提供を受けているのか問う。

答弁: ①新たな防衛計画に基づき、弾薬庫の追加設置の候補地として、祝園弾薬庫も調査対象施設となっており、調査が実施される予定と聞いている。

**再質問1:** 弾薬庫から建物の保安距離について、過去に防衛省から報告はあったのか。

答弁: ①報告はなく、問題なかったと認識している。  
②弾薬量については、防衛機密と認識しており、情報はつかんでいない。

**質問2:** 今回のような基地整備が、祝園弾薬庫にどう関わっているか、情報発信の責務がある。各関係機関や町民に対する情報共有の基本的な考えを問う。

答弁: ①施設の安全と、住民の防衛協力に見合う住民福祉の向上について、防衛省に相応の対策を講じていただくことで住民理解は形成されるものと考えている。  
②自治体の長として、基地との共存を通じて、防衛省に対し、精華町のまちづくりへのより大きな協力を求めていきたい。

### (2) 核兵器のない世界に向けて について

■核の脅威が高まる今、世界唯一の被爆国として、広島で開催のG7に参加の各国首脳を平和記念館に招くことは、何にも代えがたい「核兵器のない世界」に向けた取り組みである。と町長の考えを述べている。

**質問1:** 「精華町非核・平和都市宣言」をしている町として、核に対する新たな考え方と本町としての反核に対する取り組みを問う。

答弁: ①非核・平和都市宣言を行っており、平和首長会議への加盟を通じながら、引き続き非核・平和を求める取り組みを進めたい。

**質問2:** 町民や児童生徒に対し、どのような啓発活動で、従前以上の核の脅威の浸透を図るのかを問う。

答弁: ①町民に対し、毎年精華町平和祭典を開催し、戦争の悲惨さ、核の脅威を含めた平和の尊さを訴えている。今後も継続し、恒久平和の実現を広く啓発していく。

● 児童生徒に対する啓発・・・教育長答弁

①リアルな戦争の悲惨さや核の脅威が高まっているなどの指導は、発達の段階に応じた配慮が必要であり、また昨今では、様々な国籍の児童生徒が在籍しており、時事問題を扱う際には国籍や背景を考えると慎重にならざるを得ない。

②子どもたちには、平和の尊さを実感し、持続可能な世界の平和を築くために何ができるか、考え・行動できる力をつけさせていきたいと考えます。



# 議会だより (つづき 1)

## (3) 食糧問題 について

■ウクライナ侵略戦争により食糧問題が厳しさを増し、食料調達の自給率の低いわが国の大きな不安材料である。農水産省は、自給率向上施策を展開し、生産額ベースで令和12年に75%に高める目標を掲げている。

**質問1:** 本町の自給力向上施策をどう展開し、本町の農業を守り推進しようとするのか。

答弁: ①農産物の生産拡大を図ることと、町内での消費につなげることが、重要と考えている。  
②農家の後継者不足や高齢化もあり、野菜の作付面積は、減少傾向にあります。  
(米の作付面積はそれほど減少していない)  
③作付面積拡大を図る支援、効率化や省力化に寄与する設備導入の支援など、積極的に展開し、農業を守る担い手の確保につなげたい。  
④地産地消の取り組みとして、学校給食へ町内農産物納入量の増加、JA農産物直売所の販売促進につながる支援に取り組みたい。



**再質問1:** 自給力向上に、新しい形の野菜工場などの企業誘致とか、農地にそういう工場を建てるよう誘導するなどの考えは含まれるか。

答弁: ①食物工場自体を否定しないが、一定農地の集約を図りながら、農地を市街化にいれ、産業に使って、その税収を農業に充てていくなど、農業振興の安定財源の考え方に正面から取り組まないといけない面がある。

②未来ゾーンと言っているのは、土地利用を根本的に見直していく段階に来ているという認識です。

■未来ゾーンは、新たに「産業集積」や「人口定着」を図る地域と想定し、調査、検討を行うエリア。



## (4) 少子化 について

■1949年の出生率約270万人が2022年には80万人を切って急速に少子化が進み、国の「異次元の少子化対策」が提唱された。対策の柱に、次の項目が挙げられている。

1. 児童手当など経済的支援の強化 2. 学童保育、産後ケアなどの支援拡充 3. 働き方改革推進

■本町は、今までも「こどもを守る町」宣言に基づき、他自治体に負けないいろいろな施策を打ってきて、優位な条件をつくりイメージアップし、人口増に成果を上げてきた。

**質問1:** 本町として「異次元の少子化対策」に対しどのような考えで推進するのか。

「魅力ある町」として、こども施策をさらに、どのように発展させようと考えているのか。

答弁: ①「こどもを守る町」宣言以降、保育所待機児童ゼロ政策や放課後児童クラブの充実、障害児保育など、先進的な取り組みを展開してきた。今後もこれらを堅持していく考えの下で、政府の少子化対策についても取り組んでいきたい。

②本町の、こどもと子育てを地域社会全体で見守り支援するという基本理念の下、こども・子育て支援施策を計画的に推進することで、さらなる発展につなげていきたい。

③国の動向に注目しつつ、令和5年度から2カ年かけて、精華町児童育成計画、精華町第2期こども・子育て支援事業計画の改訂に取り組み、こどもを産み・育てやすい環境づくりをめざし、各種取り組みを推進していきたい。



**再質問1:** 医療費助成を高校生までとするとしているが、さらに今後、大学生も含む施策とならないか。

答弁: ①医療費助成は、京都府の財政出動の決断で、財源見通しが立ったことを踏まえ判断した。

②基本的に、こどもの医療費助成として18歳までとしており、大学生は、福祉医療の考え方から越えており、検討したことはない。

# 議会だより (つづき 2)

## (5) 未来の学研都市精華町 について

■第6次総合計画を策定する中で狛田開発が順調に進んだとしても、本町が高度な住民サービスを提供しつつ、学研都市を将来にわたり支え続ける自立したまちづくり、「学研都市としての精華町の未来のデザインが実現できない」可能性が大きいと記述している。 課題と対応策について問う。

●答弁: 課題について

学研都市の概成が視野に入ってきた今、将来にわたる発展が約束された自立都市が実現できるのか、実現できないとしたら何が足りないのか、を明らかにし基本構想で整理を図った。

1. 財政的自立の実現に、産業集積と人口定着が不十分であること。
  2. 学研都市建設当初からの課題の学研都市中心部への鉄道アクセスが未達成であること。
- こうした課題を踏まえ、質問に答える。

**質問1:** 狛田地区に雇用と税収の増加を期待できる「生産施設」の立地承認を求めている。

- ①どのような生産施設を考えているか。
- ②学研地区内以外にも新たな産業集積ゾーンの設定を求めているが、どのような地域を想定しているのか。

答弁: ①学研都市にふさわしい最先端の大規模な生産施設、現時点では生産施設までは認められていないが、より多くの雇用と税収が期待できる産業施設の立地を図りたい。

- ②産業集積ゾーンの設定については、未来ゾーンのうち、学研都市に隣接し、一体的な整備効果を期待できるエリアを想定している。  
(学研狛田東地区の北側エリアと学研精華・西木津地区の西側エリア)



**質問2:** 「人口定着も不十分なまま」最低5万人を堅持する必要があると示している。

- ①駅周辺を新たな住宅ゾーンとしてコンパクトシティのまちづくりを進めるとしているが、どのように描いているか。
- ②温暖化対策とイメージアップのために、精華台5丁目より進んだ省エネ住宅建設を目指す考えはないか。

答弁: ①駅周辺の高度利用により、人口定着を誘導する必要がある。一定規模以上の人口集中により、駅周辺の活性化を図るコンパクトシティを考えている。  
将来の京阪奈新線延長も踏まえた、駅周辺の人口定着を図っていきたい。

- ②環境共生住宅の誘導について、昨今の住宅は、標準でも当時の水準を超える環境性能が備えられているため、新たな規制と誘導を行う必要は少ないと考えている。

**質問3:** 京阪奈新線延伸計画の課題で、町民の一番の関心度は費用と財源確保である。

- ①本町の負担額、住民の負担はいくらか。理解を深める情報発信と費用負担をどう考えているか。
- ②「子どもたちに巨額の将来負担を背負わせようとしている」とあるが、この延伸も要因に含まれているのか。

答弁: ①京阪奈新線の負担については、今後進める産業集積による新たな増収分を、今の世代の住民福祉に使い果たすのではなく、将来世代のために積み立てていく考えで共通理解していきたい。引き続き情報発信に努める。

- ②基本認識で申し上げた子どもたちに巨額の将来負担を背負わせることとは、直接関係していない。

**再質問1:** 狛田東、企業誘致が進んでいると思うが、税収面からICT企業など、先端企業の誘致に力を入れていく方向付けはないのか。

答弁: ①学研地区は、いろんな産業がバランス良く配置されていることが、地域、産業クラスターとして発展していく上で大事だと考えている。

一つの産業、あるいは大手企業の城下町となると(経営の)乱高下の影響を受ける。

- ②今まで避けてきたフードテックについては、今日の食糧問題を考えると、取り組んだ方がいいかなと考えている。

■フードテックとは、最新の技術で新しい食品を開発したり調理法を発見したりする技術。

# 議会だより (つづき 3)

## (6) 行政運営 について

■町長は、入札不正事件の再発防止策として就任後から「風通しの良い職場づくり」を掲げ、「精華町重大事件等調査委員会」の報告書提言に基づき進めている。

**質問1:** 職員提案を取り入れメンター制度を取り入れようとしている。  
町長の取り組み姿勢と、どう導入するか問う。

答弁: ①職員からの創意あふれる提案をくみ取り、できるところから取り組んでいきたい。

②メンター制度の導入に当たっては、研修会などを通じて課題認識や目的を共有しながら、メンターとメンティーの活動に産業医などの支援も取り入れ、組織としてフォローアップしていく。

\*メンター制度とは(厚生労働省資料):  
豊富な知識と職業経験を有した先輩社員(メンター)が後輩社員(メンティ)に対して行う支援活動。

**質問3:** 非正規労働者の改革が必要とされている。  
本町においても任用職員の貢献度が高く重要性が増している。任用職員の働き方改革にどう取り組むのか。

答弁: ①会計年度任用職員の各種手当や休暇などは、国の制度に準拠を基本に労働条件の改善に努めてきた。

②給与面についても、人事院勧告に基づき給料表の引き上げを実施し、国においても勤勉手当の支給に向け検討がされている。

③今後も福利厚生面や給与面からも働きやすい職場作りに努めていく。

**質問2:** 全職員にコンプライアンスの遵守の徹底を図るとしている。

業務により横断的に関係する法令遵守があり、縦割り行政の弊害が出ないように法令遵守する必要がある。 どう考えているか。

答弁: ①平成31年の入札不正事案以降、再発防止策として、コンプライアンス宣言を行い、コンプライアンス研修を積み重ね、職員の法令遵守の意識向上に努めてきた。  
引き続きコンプライアンス意識の徹底を図っていく。



**再質問1:**  
任用職員に職員並みの仕事をしていただき、それなりの処遇を与えていく。 そういう考えの改善はないのか。

答弁: ①基本的にフルタイムで働いてもらうとしたら、正規職員として任用するのが筋と思っている。  
②今働いている方も受けていただけるような正規職員の公募もし、任用・採用していきたいと思っている。

## (7) 教育 について

■将来にわたって、「子どもを守る町」であるために、多様性にかかる教育が求められている。  
今までの日本社会での単一価値観の教育から、異質なものを排除でなく、受容することが求められている。

**質問1:** 多様性教育の充実と多様性の教育環境の整備がその解決に欠かせない。  
人権を守る多様性教育について考えを問う。

教育長答弁:

①多様性の教育は、あらゆる教育活動の中で行われており、児童生徒の発達の段階に沿って、身の回りの差別や共生について深く学習する。

②多様性の理解なしでは、これからの社会変化は乗り越えられないものと認識しており、重要な教育と考えている。

③町長とも総合教育会議などの機会を通じて意思疎通を図っている。

**再質問1:** 多様性教育の根幹となる、正しい性の理解が必要と言われる。  
幼少期から段階的に理解していく教育を入れ込むという考えは持っているか。

教育長答弁:

①多様性の学び、教育において、性の多様性というものと一緒に学ぶべきと思う。

②教育の実践力、発達段階に応じた展開の仕方などまだ研究しなければならない部分があるので、そういった教育ができるように努力していくべきと思っている。

山本せいご後援会事務所

精華町大字南稲八妻小字門口71

TEL/FAX

0774-94-3301

Eメール

seigo722@balloon.ne.jp

ホームページ

http://www.balloon.ne.jp/seigo722/